

## 1 農林地の保全と農林業生産環境の整備

農地、森林の有する本来の生産機能に加え、国土や環境保全などの多面的な機能を維持するために、土地基盤の整備をはじめ生産・加工・出荷施設の整備や林道・作業道等の整備を進めています。



大原土地基盤整備風景

ほ場整備された農地は、生産効率とともに防災能力を向上させます。



林業用路網整備後の風景（法面保護に地域産のウッドブロックを活用）安全な林道は、森林の適正な管理と木材生産活動の効率化につながります。



木材製材施設（杉丸太を使用したトラス工法による構造を採用）高品質な市内産木材製品を安定的に供給するため、製材工場など木材加工施設の整備を推進しています。

## 2 活力ある農林業の推進

農林業機械、施設等の導入・経営の合理化を積極的に進め、京野菜、花き、磨丸太など付加価値・収益性の高い多様な農林業を推進しています。



林業高性能機械による利用間伐風景

かつては人の手によって行われていた間伐・搬出作業も機械の導入により、省力化が図られてきています。



ネギ移植機導入  
花トピア大原野



ネギ移植機導入

## 3 環境に優しい農林業の推進

環境への負荷を極力軽減した持続可能な農林業生産活動を継続するため、リサイクル堆肥であるコンポスト（樹木剪定堆肥）の使用や減農薬・減化学肥料栽培を積極的に推進するとともに、長伐期施業などの森林管理を通して、健全な森林の育成を図っています。



長期育成林風景（京北展示林）



J.A.コンポステーション  
剪定枝をビールかすとともに堆肥化しています。

## 4 多様な担い手の育成・確保

多様な担い手を育成するとともに、農林業後継者組織や女性農業者グループの活動を支援しています。



←農業経営改善  
講習会の様子



農家女性による料理コンクール  
食生活の改善だけでなく、食文化の伝承、食育の推進、特産物育成の役割も担っています。



品評会の様子



トラクターパレード  
京北地域を中心とする農村部では、集落で機械を共同所有し、各農家の負担軽減が図られています。

## 5 市民生活に密着した農林産物の生産・流通体制の整備と需要拡大



杣人工房（まちの中の森の窓口）



京都市木材認証マーク「みやこ桧木」  
杣（そまびと）工房を各区に設置し、京都の気候風土の中で育ち環境負荷の低い市内産木材（みやこ桧木）の需要拡大を呼びかけています。



京の旬野菜  
認証マーク  
環境負荷が低く、減農薬・減化学肥料で栽培された栄養価の高い野菜を「京の旬野菜」として認定するとともに、販売促進キャンペーンを実施し、市民に消費拡大を呼びかけています。



林産物需要拡大センター「ウッディー京北」  
木材・木製品・磨丸太等の展示販売、地域の情報発信、林業関係者の研修などを行っています。



京都市花き地方卸売市場「はなみやこ」  
市民の花き消費の多様化や流通、情報技術の高度化に対応しています。